

在宅医療・介護連携推進事業に関する事業一覧（市実施分）

事業項目	平成 30 年度（2018 年度）	平成 31 年度・令和元年度（2019 年度）	令和 2 年度（2020 年度）	令和 3 年度（2021 年度）
【ア】地域の医療・介護サービス資源の把握	6 月に市内の医療機関及び介護事業所の住所、機能等の情報を集めた在宅医療・介護サービス資源マップ（Web 版）の運用を開始。 近隣市では、立川市・武蔵村山市が運用（年度末時点）	在宅医療・介護サービス資源マップ（Web 版）情報更新 調査による定期更新以外にも情報を把握時には随時更新		
【イ】在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	地域の医療機関・介護関係者等が参画する会議として、平成 27 年度よりあきしま地域福祉ネットワークと連携した退院・退所連携体制構築委員会を開催。平成 30 年度から、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行うように在宅医療介護連携構築委員会へ名称変更した。			在宅医療・介護連携推進委員会の立ち上げを準備
【ウ】切れ目のない在宅医療と介護の供給体制の構築推進		在宅療養支援病床利用調整事業 医師会への委託を 1 月締結、協力病院との協定を 3 月締結		
【エ】医療・介護関係者の情報共有の支援	昭島医師会が運営・管理している ICT を活用した医療・介護の情報共有ツールに対し、市が補助金を出すことで活用を支援。			
【オ】在宅医療・介護関係者に関する相談支援	市内 4 ヶ所の地域包括支援センター内に、在宅医療と介護のスムーズな連携を支援するため「在宅医療・介護連携相談窓口」を設置。		地域包括支援センターの増設に伴い、在宅医療・介護連携相談窓口が 5 か所となる。	
【カ】医療・介護関係者の研修	5 月 認知症初期相談窓口について・認知症事例検討 2 月 多職種のチームで連携する在宅医療 82 名	7 月 昭島市・立川市・武蔵村山市合同地域包括ケアシステム推進シンポジウム 139 名	新型コロナウイルス感染症に関する内容で 2 回実施 11 月 講演・シンポジウム 会場・録画の計 54 名 3 月 講演他 ハイブリッド形式 40 事業所	11 月「今求められる入退院支援について」ハイブリッド形式 64 名 3 月「地域包括ケアシステムにおける関係者の情報共有」 対面 36 名
【キ】地域住民への普及啓発	住民対象講演会 6 月 暮らしの場における看取り支援 市内の医療機関と介護事業所を掲載した介護保険サービスガイド冊子を作成し市役所窓口及び地域包括支援センターにて配布	住民対象講演会 7 月 認知症ケア Q&A 49 名 8 月・10 月 エンディングノート活用講座 計 153 名 講演前待ち時間に普及啓発 DVD「最期まで自分らしく暮らす」を上映 11 月認知症月間	住民対象講演会 9 月 エンディングノート活用講座 3 回計 104 名 11 月認知症月間 いきまち出前講座 2 回目実施	市民対象とした講演会を実施 9 月 エンディングノートを使った人生設計講座 2 回計 39 名 11 月認知症月間 3 月社会文化セミナー（公民館との連携事業）「昭島市の現状と地域包括ケアシステム」21 名
【ク】在宅医療・介護に関する関係市町村の連携	在宅療養体制支援事業担当者連絡会（東京都多摩立川保健所とその圏域の行政による情報共有及び連携を定期的に行っている）へ市職員及び地域包括支援センター職員出席。		北多摩西部保健医療圏域内医療機関の連携窓口一覧を作成	北多摩西部保健医療圏域内医療機関の連携窓口一覧情報更新 ※省令改正により事業【ク】は都道府県主体の役割へ変更